

例題 1

表は、4種類の果樹の生理障害とその要因について示したものである。表中のア～エに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

| 果樹名 | 生理障害 | 要因 |
|-----|--------|----------------------|
| ア | 浮き皮 | 秋の高温 |
| ブドウ | イ | 耐凍性の低下による凍害 |
| リンゴ | ビターピット | ウの局所的欠乏 |
| エ | いや地 | 前作樹体由来の青酸配糖体が分解されること |

| | ア | イ | ウ | エ |
|-------------|---|------|-------|----|
| 1. ナシ | | 花振るい | カルシウム | カキ |
| 2. ナシ | | 眠り病 | ホウ素 | モモ |
| 3. ウンシュウミカン | | 花振るい | ホウ素 | カキ |
| 4. ウンシュウミカン | | 眠り病 | カルシウム | カキ |
| 5. ウンシュウミカン | | 眠り病 | カルシウム | モモ |

正答番号 5

例題 2

日本の外来昆虫に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. ウリミバエは、南西諸島に侵入した害虫である。幼虫が様々な野菜や果実を食害して大きな被害を与えていたが、性フェロモンを用いた大量捕獲（誘殺）法により根絶に成功した。
- イ. セイヨウオオマルハナバチは、ヨーロッパから導入された昆虫である。施設栽培トマトの受粉に貢献しているが、逃げ出したものが野生化して生態系を攪乱するおそれがある。
- ウ. イネミズゾウムシは、北米から侵入した害虫である。成虫が土中に潜り、イネの根を食害する。
- エ. クビアカツヤカミキリは、近年侵入した害虫である。幼虫がサクラ、モモ、ウメなどの樹幹内を食害して枯死させてしまう。

- 1. ア, ウ
- 2. ア, エ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, エ

正答番号 4